

1996年度

国際基督教大学高等学校入学考査問題

数 学

注 意

1. この考査は資料文とそれに続く問題文とで構成されています。資料文を読みすすめながら、対応する問題に答えてゆくのがよいでしょう。
2. 資料文や、問題文に、自由に書き込んでかまいませんが、解答は全て、解答用紙に記入して下さい。
3. この考査時間は、12時50分から2時10分までの80分間です。
4. その他の要領は、他の科目の考査と同様です。

考査番号	G J	氏名	
------	--------	----	--

G, Jのいずれかをマルで囲んでください。

資 料 文

中学三年生の緑さんは、大学に入ったばかりの従兄の聡さんに、色々な数学の話聞くのが好きです。

聡：今日は何の話しましょうか？

緑：この間学校で、こういう問題を解いたんだけど、

下のグラフは、電車AがM駅を出発してから、x秒間にyメートル進んだとして、xとyの関係を示したものである。このとき、

$0 \leq x \leq 30$ では、 $y = ax^2$ の関係が成り立ち、

$30 < x \leq 50$ では、速さは一定で、秒速は20メートル、

$50 < x$ では、速さは一定で、秒速は30メートルになるという。

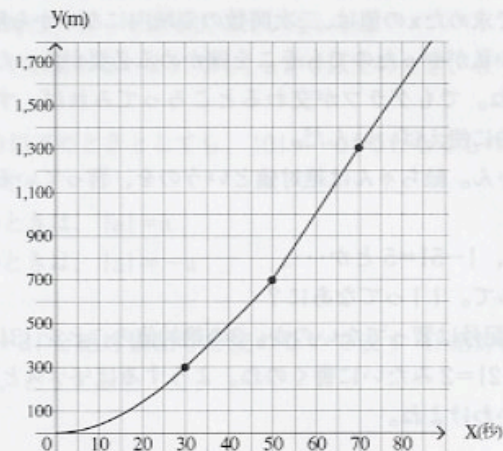
次の問いに答えよ。

① 電車Aについて、yとxの関係を式に表すと、 $0 \leq x \leq 30$ では $y = ax^2$ 、 $30 < x \leq 50$ では $y = bx + c$ 、 $50 < x$ では $y = dx + e$ となる。

a, b, c, d, e, の値を求めよ。

② 電車AがM駅を出発すると同時に回送電車Bが電車Aを追い越して行った。

Bの速さは毎秒20メートルであるという。Bの運行の様子を示すグラフを、下の図に書き入れよ。又AがBに追い付くのは、AがM駅を出発してから何秒後か。



緑：そのとき先生が、これは高校に行ったら、もっと難しい形で出て来るから、よく理解しとけて言われたの。これはこれでわかったつもりなんですけど、「よく」ってとこに自信が持てないの。何かこれに関係した話をして欲しいんだけど…。

聡：そうだなあ。先生がよくって言った中にはね、グラフの読み取り方の問題があると思うから、まずグラフの話をしてみようか。グラフっていうのは x （この場合はM駅を出発してからの時間）の値に y （この場合はM駅からの距離）を対応させるわけだね。緑ちゃんがあげた問題でいえば、 $0 \leq x \leq 30$ 、 $30 < x \leq 50$ 、 $50 < x$ では、 y の変化の仕方も違うよね。 $0 \leq x \leq 30$ の時は、 y の値は x を二乗したものを a 倍したものに对应しているし、 $50 < x$ では、 $dx+e$ の値が y だ。こういうふうになら考えている x がどの範囲にあるか、というのがとても大切なんだ。

緑：はい、それはわかります。 x の変域に注意しろってということね。

聡：そう。それともう一つ、「電車Aが回送電車Bに追いつくのが何秒後か」っていう問題なんだけど、電車Aのグラフと回送電車Bのグラフが交わるときの x 座標をみればいいわけだね。ところで、式で解くとどうなるかい？

緑： $dx+e=20x$ を解いてその x の値を求めればいいんです。

聡：でも、 $20x=ax^2 \cdots (*)$ としても x の値が出て来るけれど、その値はどうしてだめなんだろう。

緑：えっ、でもそれは…。出発して□秒後には、もう二次関数ではありません。つまり $(*)$ で求めた x の値は、二次関数の変域内にないから解じゃないんです。あっ、そうか私がやったのでもそこを確かめる必要があったのね。

聡：そう面倒だね。でもグラフが交わるころってみれば、すぐわかるだろう。計算は補助的に使えばいいんだ。

問題 1

さて、緑ちゃん。緑ちゃんは絶対値というのを、習っているよね。

緑：ええ、一応。

聡： $|3|=3$ とか、 $|-5|=5$ とか…。

緑：ちょっと待って。||ってなあに？

聡：あれ。絶対値記号は習ってないのか。3の絶対値のことを $|3|$ と書くんだ。

緑：ふーん。 $|-2|=2$ みたいに書くのね。ようするにプラスとかマイナスの符号を取ればいいわけよね。

聡：うーん。そうすると $|a|=a$ で、 $|-a|=a$ かい？

緑：違うの？

聡： a が3の場合は、確かに

$|a|=a$ 、 $|-a|=a$ だけど、

a が -5 だと、

$|a|$ がいつも a とすると $|-5|=-5$ となってしまうよ。

緑：あっそうか。じゃ、どうすればいいの？

聡： $|-5|$ は5なんだろう？

その5を -5 を使って表すにはどうしたらいいだろう。

緑：5を -5 を使って表すの？ あっそうか。 -5 の前にマイナスをつければいいのね。

$$5 = -(-5)$$

つまり、

$\langle a$ が負の数だったら、 $|a|=-a \rangle$

となるわけなの。

変な感じ。絶対値なのにマイナスがあるなんて。

聡：絶対値記号の中味が文字のとき、今までのことをまとめてごらん。

緑：はい。

a が正のときは、 $|a|=a$

a が負のときは、 $|a|=-a$

あれ、 $a=0$ の時は、どっちにも入っていないわ。

聡：どっちにいれても構わないよ。でも、 a が0以上のとき、とするのが普通だろうね。

緑：そうか。 a が0以下のときとしても、 $|0|=-0=0$ となるものね。

それでは改めて…

$0 \leq a$ のときは、 $|a|=a$

$a < 0$ のときは、 $|a|=-a$

となる。

聡：ところで $|x+2|$ を絶対値記号を使わないで表す（「絶対値記号をはずす」という）には、どうする？

緑：えーと、 $0 \leq x$ のときは、 $|x+2|=x+2$ で、
 $x < 0$ のときは、 $|x+2|=-x+2$ です。

聡：本当にそうかい。

例えば、 $x=-1$ だったら、緑ちゃんによれば、
 $|-1+2|=-(-1)+2$ となるよ。

緑：あれっ？ 左辺が1で、右辺が3になっちゃう。
 じゃ違うのか。

聡： $x+2$ をひとまとまりとして、考えたらいんじゃないか？

緑： $0 \leq x+2$ のときとか、
 $x+2 < 0$ のときにわけるの？

聡：そう。

緑： $0 \leq x+2$ のとき、つまり $-2 \leq x$ のときは、
 $|x+2|=x+2$

$x+2 < 0$ のとき、つまり $x < -2$ のときは、
 $|x+2|=-x-2$

となるわけね。

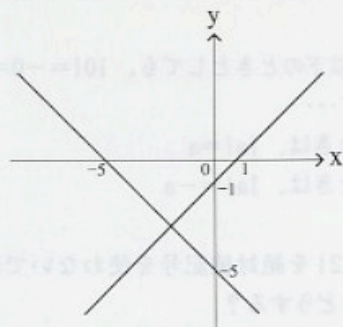
問題 2

聡：絶対値記号の中に x の一次式が入っている時、絶対値記号をはずすことが、
 できるようになったんだから、それを使ってグラフをかいてみよう。

緑： $y=|x+2|-3$ みたいなグラフですか。絶対値記号をはずすことは、できるけど。

$$y = x+2-3 = x-1$$

$$y = -(x+2)-3 = -x-5$$



二本になっちゃいそう。

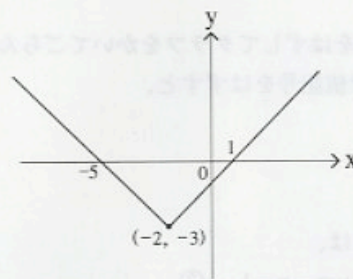
聡：ふーん。で、 $y=x-1$ と、 $y=-x-5$ の交点の x 座標は何になる？

緑： $x=-2$ だけど…。あっそうか、

$-2 \leq x$ のときは、 $y=x-1$

$x < -2$ のときは、 $y=-x-5$

なんだから…。あっ、さっきの話しね。 x の変域に注意するっていう。



こうなるのかしら。

問題 3

聡：そうその調子。じゃ次に、

$$y = |x+2| + |2x-1|$$

を考えてごらん。

緑：わーっ。絶対値が二つもある。

えーと、最初の絶対値記号の中味は、 $x=-2$ を境に正負がわかれて、二番目
 のは、 $x=\frac{1}{2}$ を境に正負がわかるんだから……。

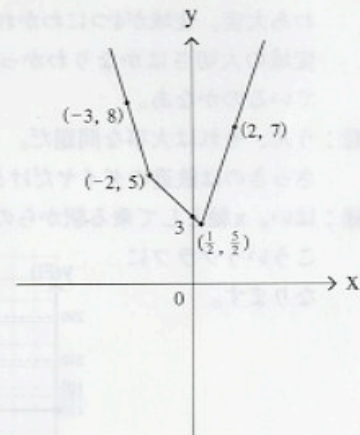
$x < -2$ のとき、
 $y = -(x+2) - (2x-1)$
 $= -3x-1$

$-2 \leq x < \frac{1}{2}$ のとき、
 $y = x+2 - (2x-1)$
 $= -x+3$

$\frac{1}{2} \leq x$ のとき、
 $y = x+2 + 2x-1 = 3x+1$

となります。

つまりグラフは……。



聡：すごいじゃないか。三本の直線のそれぞれについて、少なくとも2点の座標を記入した方がいいね。

問題 4, 5, 6

じゃ、次に絶対値の中に絶対値が入っているグラフっていうのを考えてみよう。

緑：えーっ、中カッコの中に小カッコが入っているような？

聡：そうそう、いい線いってるよ。

たとえば $y = ||x| - 1|$ の絶対値記号をはずしてグラフをかいてごらん。

緑：まず $x < 0$ と $0 \leq x$ と分けて中の絶対値記号をはずすと、

$$x < 0 \text{ のとき } y = |-x - 1| \dots \textcircled{1}$$

$$0 \leq x \text{ のとき } y = |x - 1| \dots \textcircled{2}$$

となります。

次に①のときの絶対値記号をはずすには、

$$0 \leq -x - 1, \text{つまり } x \leq -1 \text{ のとき } y = -x - 1 \dots \textcircled{3}$$

$$-x - 1 < 0, \text{つまり } -1 < x \text{ のとき } y = -(-x - 1) = x + 1 \dots \textcircled{4}$$

聡：ちょっと待って！

①で $x < 0$ だったね。

緑ちゃんの④だと $-1 < x$ だから x は2でも3でもよくなっちゃうよ。

緑：あっ、そうか。

④は「 $-1 < x < 0$ 」のときとなるわけね。

それから②のときも同様にすると…

問題 7, 8

わあ大変。変域が4つにわかれちゃうのね。

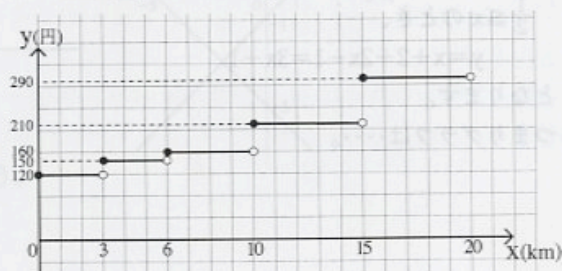
変域の大切さはかなりわかったつもりだけれど、グラフっていつもつながっているのかなあ。

聡：うん、それは大事な問題だ。

さっきのは鉄道のダイヤだけれど、鉄道の料金っていうのもグラフになるよね。

緑：はい。x軸として乗る駅からの距離をとって、y軸として料金をとると、

こういうグラフになります。



聡：そうそう、緑ちゃんはわかっているようだから、●と○の意味について説明してくれるかい。

緑：えーと、例えば $0 \leq x < 3$ の時、 $y = 120$ だったりすると、0kmの時は120円だけれど3kmになると120円じゃなくて、150円になっちゃうということです。

聡：つまり $a \leq x < b$ の場合は a は x の変域に含まれるという意味で●を書き、 b は含まれないので○と書くんだよね。

それじゃあついでだから、この鉄道料金のグラフみたいなものを1つの式で表す記号を教えてください。

緑：えっ、そんな記号があるの。

聡：そう、ガウス記号というんだけど、

ある数 x があったとき、その x をこえない最大の整数を、 x の整数部分と呼んで、 $[x]$ (「ガウス x 」と読む) で表す。すなわち、

$[x]$ は、 $n \leq x < n + 1$ を、満たす整数 n のこと。

と、数学の本には書いてあるけどちょっとわかりにくいかな。

緑：何か例で教えてくれると、わかると思うんだけどな。

聡：うん。 $[2.4] = 2$ とか、 $[3.9] = 3$ となるんだ。

緑：じゃあ、 $[-2.6] = -2$ なの？

聡：いや、 $\langle x \rangle$ をこえない最大の整数) だろ？

緑：あ、そうか。 $-3 \leq -2.6 < -3 + 1$ だから、

$$[-2.6] = -3 \text{ ですね。}$$

聡：そう、その通り。さて、それじゃ、

$$y = [x]$$

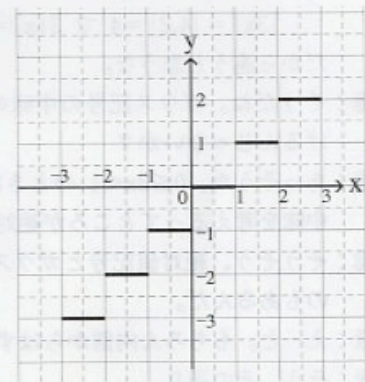
を、グラフで表してみるとどうなるかな？

緑：あっそうか。

こういうふう

階段みたいに

なるのね。



聡：そう、大体いいけれど、このグラフだと、 x が2のとき、 $[x]$ は、
1 なんだか2 なんだか、わからないね。

緑：ああそれで●と○が、大切になってくるんだ。じゃあ、右のようにグラフをかき直します。

面白いわ。

x が1つ与えられれば、必ず1つだけ、 y の値が決まるわけね。

$y = [2x]$ や、

$y = [-x]$ も、

考えられるんでしょう。

聡：そう、例えば $y = 3[x]$ っていうグラフになると思う？

緑：えーと、 $0 \leq x < 1$ のときは $y = 0$ 、

$1 \leq x < 2$ のときは $y = 3$

$-1 \leq x < 0$ のときは $y = -3 \dots$

ですから、こうなると思います。

聡：その通りだ。じゃあ $y = [3x]$ も同じかな？

緑： $x = 0$ や 1 や -1 のときは、 $[3x]$ も $3[x]$ も同じ値になるけれど、

$x = 1.4$ なんかだと、

$$[3x] = [4.2] = 4 \quad \text{で} \quad 3[x] = 3 \times [1.4] = 3 \times 1 = 3$$

だから違うと思うな。

聡：そうだね。ガウス記号の中味の変わり方に注意すると $y = [3x]$ のグラフも書けるんじゃないか？

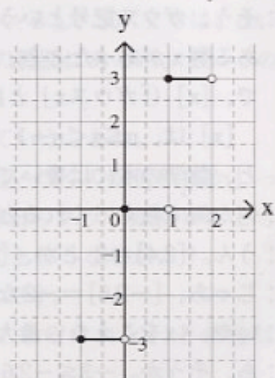
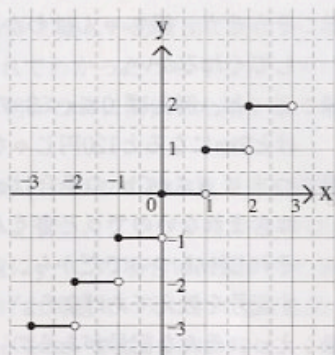
緑：あっそうか。 $0 \leq 3x < 1$ のときは、 $y = 0$ と考えるのね。

中味を考えるってところが絶対値記号をはずすのとよく似ているわ。

聡：そうそう、絶対値記号とガウス記号が組み合わさった $[|x|]$ 、 $|[x]|$ みたいなものもあるんだ。

緑：えーと。もちろん内側からはずしていけばいいのよね。

聡：そう、その通り。



問題 9

緑：絶対値記号が2つあったように、 $y = [x] + [2x]$ みたいなものもあるでしょう。

聡：うん。でも、それより、今度は $y = x + [x]$ のグラフを考えてみよう。

緑：やっぱり x の変域をわけて考えるのね。

聡：そう、ここでは、 $-2 \leq x < 3$ の範囲で考えてみようか。

緑：はい。

$-2 \leq x < -1$ のとき

$$y = x - 2$$

$-1 \leq x < 0$ のとき、

$$y = x - 1$$

$0 \leq x < 1$ のとき、

$$y = x$$

$1 \leq x < 2$ のとき、

$$y = x + 1$$

$2 \leq x < 3$ のとき、

$$y = x + 2$$

わあ、登りにくそうな階段だ。

聡：このぐらいだと、ちょっとは登れそうかい。

緑：うん。

聡：それじゃあガウス記号を使って、次のような問題に挑戦してごらん。

緑：はい。

問題10

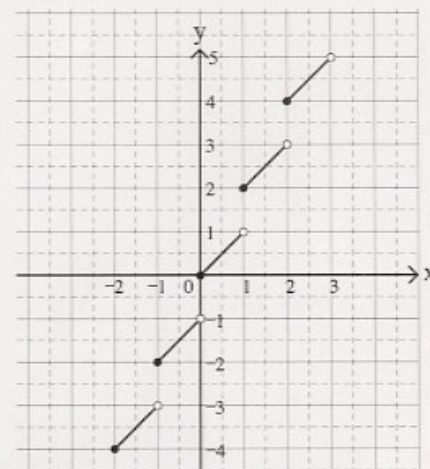
問題11, 12

聡：先生が「よーく」って言った意味がわかったかい？

緑：何か今の所、新しい記号で頭がごちゃごちゃしちやっているけれど、「グラフ」

についても、今までよりわかったような気がします。

どうもありがとう。



1996年度 問 題

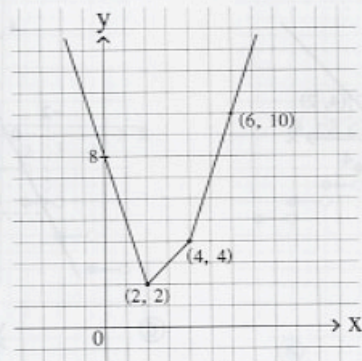
問題1 緑さんが、学校で解いた問題を解きなさい。

問題2 $|2x-3|$ の絶対値記号を、はずしなさい。

問題3 $y=|x+2|-3$ のグラフにならって、 $y=|x-1|-3$ のグラフを、 x 軸との交点を求めて、かきなさい。

問題4 なぜ、少なくとも2点の座標を記入した方が良いのか、簡潔に答えなさい。

問題5 下のグラフは、 $y=|ax-4|+|x+b|$ のグラフである。
 a, b の値を求めなさい。

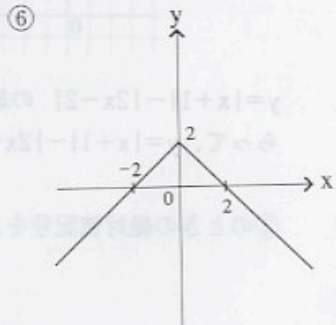
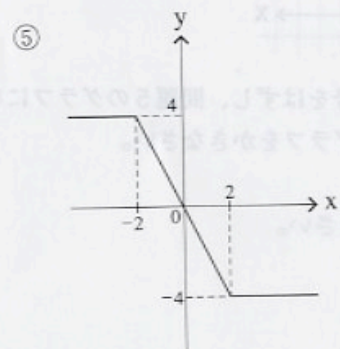
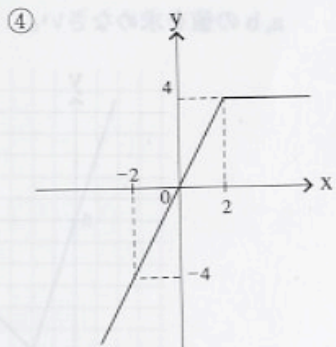
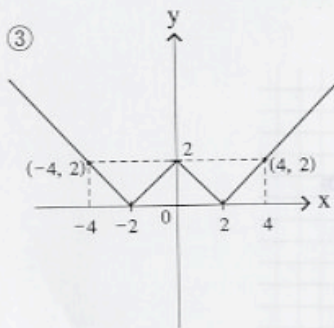
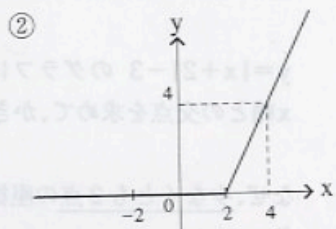
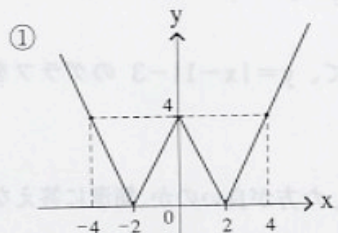


問題6 $y=|x+1|-|2x-2|$ の絶対値記号をはずし、問題5のグラフにならって、 $y=|x+1|-|2x-2|$ のグラフをかきなさい。

問題7 ②のときの絶対値記号を、はずしなさい。

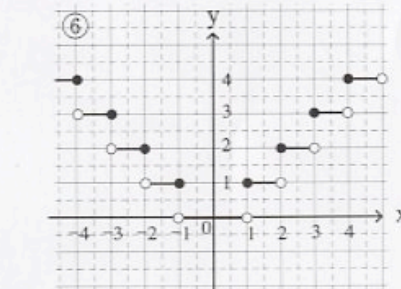
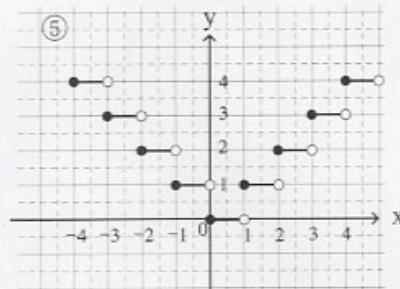
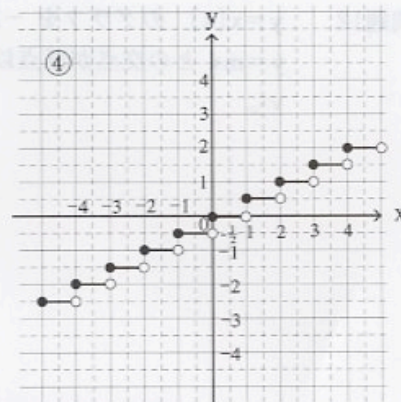
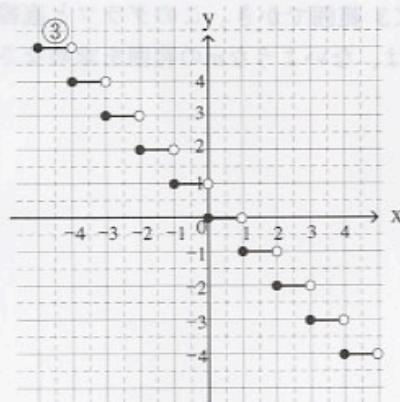
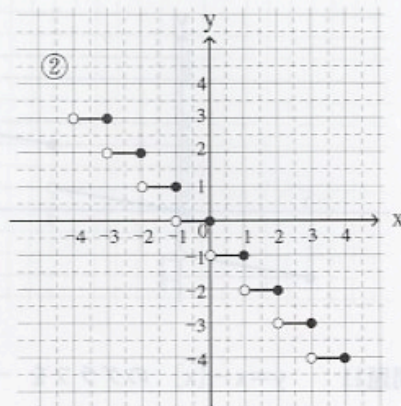
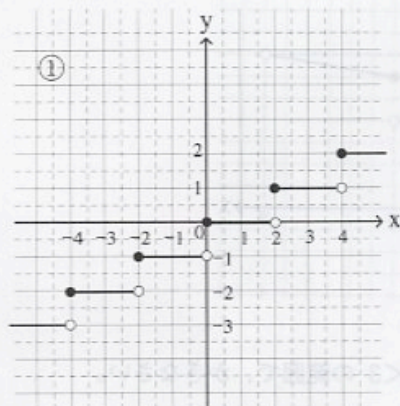
問題8 下に6つのグラフがある。そのグラフを表す式を記号で答えなさい。

- ア. $y=|2|x|-4|$ イ. $y=-|x-2|+|x+2|$
 ウ. $y=x+2-|x-2|$ エ. $y=|x-2|-|x+2|$
 オ. $y=|x-2|+|x+2|$ カ. $y=x-2+|x-2|$
 キ. $y=|2|x|+4|$ ク. $y=-|x|+2$
 ケ. $y=| |x|-2|$ コ. $y=|2x-4|$

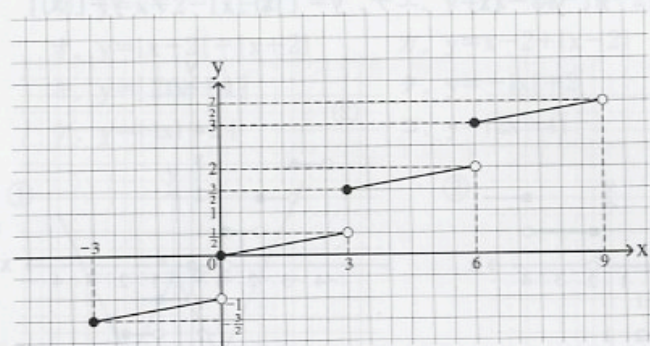


問題9 下に6つのグラフがある。そのグラフを表す式を記号で答えなさい。

- サ. $y=[2x]$ シ. $y=[\frac{1}{2}x]$ ス. $y=[-x]$ セ. $y=2[x]$
 ソ. $y=\frac{1}{2}[x]$ タ. $y=-[x]$ チ. $y=[|x|]$ ツ. $y=|[x]|$



問題10 下のグラフは $y=ax+[bx]$ のグラフである。
 a, b の値を求めなさい。



問題11 $y=x-[x]$ のグラフを $-2 \leq x < 3$ の範囲で、かきなさい。

問題12 $y=x[x]$ のグラフを $-2 \leq x < 3$ 範囲でかき、このグラフと直線 $y=mx$ との交点が原点以外には、ないような m の範囲を求めなさい。